

【所属名：総務部企画財政課】

【会議名：第2回糸魚川市総合計画審議会】

## 会 議 録

作成日 平成29年10月13日

日	平成29年10月13日(金)	時間	10:00～10:50	場所	市民会館3階会議室
件名	・会長あいさつ ・議題 ・第2次糸魚川市総合計画の改訂について				
出席者	【委員出席者 15人】 渡邊秀幸、渡辺秀彦、瀬下忠彦、古畑伸一、串橋静江、黒坂アイ子、水島喜代一、渡邊文恵、山田卓也、鈴木秀城、岡崎忠雄、龍見和弦、中嶋千代子、松本利恵、綱島喜代子 【委員欠席者 5人】 飯田芳之、仲林正之、加藤政人、渡辺文夫、磯野幸枝 【事務局出席者 8人】 金子総務部長、齋藤産業部長、復興推進課（斉藤課長、太田管理監）、企画財政課（藤田課長、嵐口課長補佐、嶋田係長、土沢主査）				
	傍聴者定員	—	人	傍聴者数	—

### 会議要旨

<p><b>1 開会 (10:00)</b> 企画財政課嶋田係長により進行。 ・事前配布資料、当日配布資料の確認。</p> <p><b>2 会長あいさつ</b></p> <p><b>3 議題</b> ・以降、総合計画条例第6条第1項の規定に従い、中嶋会長に議長をお願いし進行。</p> <p>「第2次糸魚川市総合計画の改訂について」 ○前回審議会と市議会での意見を踏まえ、文案修正を行った点について説明。</p> <p><b>【質 疑】</b> (委員) 資料ナンバー1の3ページの具体的施策について、ボランティア活動のことについて書かれているが、ボランティアの場合、糸魚川市民が市内で行う活動と、市外の方が糸魚川で活動するケースがあるが、社会福祉協議会が受入窓口となるケースのことを言っているのか？ (事務局) 受入窓口は、災害はいつ発生するか分からない中で急な対応を求められるものであり、社会福祉協議会のみならず、市も一緒になって態勢を整備していくというもの。市では福祉事務所が担当となる。</p>
---

(委員)

社会福祉協議会の人員や対応、ノウハウについてはどうなのか？

(総務部長)

災害の規模によって対応は変わってくると思うが、今回の大火では多くのボランティアの皆様から協力を頂いたわけだが、中越地震の経験、受入態勢のノウハウを持った方からも協力をいただき対応できた。今後、そういったノウハウを学ぶことについて、社会福祉協議会や市の担当部署で研修する機会を設けていきたい。

(委員)

建物の密集地域のところで議会から意見が出たようだが、密集地域は今の時点で何箇所ぐらいあるか把握しているか？

(事務局)

今回の大火に見舞われたエリアのような家屋が連担する地域は市内で 12 あるということで把握している。次年度以降、それら地域で災害に対する対応力を高めていくような取組を予定している。

(会長)

他にご意見がないようであれば、こちらの改訂案で調整していくということによろしいか。

(委員)

異議なし。

(会長)

事務局の方で他に何かありますか。

(事務局)

答申について説明させていただく。本日の審議会で確認された内容をもって、最終答申とする。最終答申は、正副会長から出席をいただき、10月17日(火)午後2時30分から市役所にて行う予定である。→最終答申の文案を配布。

(事務局)

答申文案については、事前に正副会長と協議をおこなったものであり、協議の中で、大火の教訓を踏まえた安全・安心なまちづくりに向けて、地域防災体制の充実に取り組むよう要望があったことから文言を追加している。

#### 4. その他

(事務局)

最終答申の内容にて、10月25日から1か月間のパブリックコメントを行う。意見を受け付ける場所としては、市役所1階、能生・青海両事務所、3地域の各図書館と地区公民館、市のホームページとする予定。

パブリックコメント終了の後、11月下旬には市議会全員協議会にて内容審議をいただき、そこでの修正意見等を反映したもので、最終の成案とする。

その後、印刷製本作業を行い、年内を目途に完成させる予定であり、委員の皆様にお届けさせていただく予定である。

(事務局)

前回審議会でのふるさと納税の申し込み状況のご質問に対し説明させていただく。

平成28年度大火前の実績で2千360万円、大火後は、インターネットの緊急災害フォームからの申し込みで2億2300万円、通常分(一般)では2億500万円となっており、全国各地からご支援いただいた。使い道については、大火事業以外では、市内同窓会事業への支援やこどもの教育に関するものに役立たせていただいた。大火関連では、復興に向けたまちづくりのため、本町通りの雁木再生や不燃化に対する補助や、災害に強いまちづくりということで消防

団の装備充実などに充てさせてもらった。今年度は9月末現在で1,300件3,100万円となっており、一昨年に比べ、件数、金額とも多くなっている。

(委員)

寄付をもらってから、来年行う工事まで期間がある。その間まで寄付金が残されているかどうか問題。寄付された方は被災して大変といったことで寄付してくれている。一般会計の大きな財布に寄付金が入ってしまうとわかりづらくなる。そうであれば、災害分の2億2千万円ぐらいは駅北大火復興基金というような感じで小さい財布をいくつか持つておくことも必要ではないか。

(企画財政課長)

昨年度、大火を受けて、駅北大火復旧復興基金という基金を作り、5億5千万円を積み立ててある。その原資の一部として2億2千万円を充てさせてもらい、一般分の2億576万円についても、ふるさと糸魚川応援基金というものを持っていてそちらに積み立てしている。駅北大火の方は駅北大火の復旧、復興の市の負担分に充てているし、ふるさと糸魚川応援基金については防災力の強化、消防団の装備充実の財源として充てている。2～3年といった長いスパンで財源が必要になることから、一旦積み立ててといて必要なときに充てていきたい考えである。

(委員)

初期消火については各地区でも実際に年1回訓練をしていると思う。消火栓の所のホース格納箱に新たにホースを備え付けてもらったが訓練で使ったことがない。なぜなら白濁するのでだめだといわれている。初期消火に役立つと思うので、訓練の時に使えるように考えてもらえればと思う。また、自治会の防災訓練で怪我した場合、消防団は補償してもらえるが、一般の人の場合はどうなるのか？公民館活動の場合は公民館保険がある。白濁と怪我の場合のことについて教えて欲しい。

(企画財政課長)

今回の火災を受け、消火資機材については来年度集中的に整備することで予算を付ける予定である。日頃の訓練は重要だが、水道が白濁するため使ってはいけないというのは初めて聞いた。実施には届出は必要かと思うが、消防やガス水道局に確認し、訓練時には使える形にしたいと思う。訓練時の怪我は過去にも例があり、保険等については庁内で確認しお答えしたいと思う。

(復興推進課長)

消防力の強化のひとつとして、通常の消火栓はホース径65ミリで高齢の方や女性では扱いにくいので、現在市内8箇所40ミリのホースを使った初期消火訓練をモデル的に取り組んでいるところである。白濁の問題も、おそらく消防とガス水道局で話がされていると思う。できるだけ早く市内全域に広げていきたいということも復興計画の中でも入れている。

(会長)

他にないようでしたら進行を事務局に戻します。議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

## 5 閉会あいさつ(10:50)

(会長)

委員の皆様のご協力に感謝申し上げます。まずは火を出さない、ということ子どもたちにも伝えていくことが大事である。総合計画策定に関わったことを誇りに思う。

(副会長)

2回の審議会での審議により基本計画がまとまった。皆さんの意見は、またそれぞれの立場で自治会などでも安全安心なまちづくりに生かしていけたらと思う。市民が安心して暮らせるよう、問題を行政と市民で一緒に考えながらやっていくことが大切だと学ばせていただ

く機会にもなった。これまでのご協力に感謝申し上げます。

(事務局)

復興推進課から催し等について説明します。

(復興推進課長)

これからどのように動いていくか、現地の状況をお伝える。道路の拡幅や側溝のふたがけについては、ほぼ発注が終わっている。一部、用地の関係で止まっているが、工事の関係は順調である。北越銀行の西側に市の土地1,000平米を確保でき、イベントも行えるにぎわい広場とする。11月18日には「復興マルシェ」を開催するため、委員の皆様からご参加いただき、また周りの皆さんにもアナウンスいただければありがたい。そのほか、旧山岸時計店の所を借り受け、今月23日に「復興情報センター」を開設する。集落支援員を配置し、機能としては、被災者の相談事の対応と、視察や観光で訪れる方の案内である。なお、大火から1年を迎える12月22日に1年事業を予定している。すでにチラシもできており、被災者説明会の後、情報をオープンにしていきたい。

(事務局)

最後に、総務部長よりお礼の言葉を申し上げます。

(総務部長)

平成27年度から28年度にかけての約1年間に渡り、総合計画の策定に対しご尽力いただき感謝申し上げます。さらにこの度は、駅北大火を受けての改訂に対して、正副会長をはじめ、各委員の皆様から短い期間の中で集中審議を頂き、重ねて感謝申し上げます。駅北大火を教訓として、災害に強いまちづくり、にぎわいのあるまちづくり、住み続けられるまちづくりの3つを基本方針として復興まちづくりを進めて参ります。そして、大火を二度と繰り返さない防火防災の取組を進めるとともに、第2次総合計画の第1章から第6章の基本施策の推進を進めて参ります。皆様におかれましても、今後ともそれぞれのお立場でご協力、ご活躍いただけますようお願いし、お礼の言葉とさせていただきます。

以上